

令和7年度名張市総合防災訓練の概要（案）について

1. 目的

令和6年能登半島地震や同年発生した奥能登豪雨などの近年の大規模災害における教訓を生かすとともに本市において想定される災害の発生に備え、市全体の防災意識の高揚と防災諸活動の習熟を図るため、名張市総合防災訓練を実施します。

2. 実施日時

令和7年11月15日（土）午前9時～正午

3. 実施場所

名張市役所、各市民センター、各小中学校、名張市消防本部等

4. 災害想定

◎訓練の想定

11月15日、大型で強い勢力を保持した台風が本市に接近し、豪雨により、宇陀川及び名張川の氾濫の危険性が増大したため、市内各所において浸水、土砂災害等の被害が発生するおそれがあることから避難指示を発令したという想定で訓練を実施します。

◎各地域における訓練の想定

地域の実情に応じて、地震又は風水害の発生を想定したシナリオに基づく訓練を実施します。

5. 訓練内容

＜市災害対策本部における訓練（図上訓練）＞

◎市災害対策本部設置・運営訓練

◎消防本部との合同訓練

◎通信訓練

訓練内容については今後、調整を行う予定です。

＜市各所管における訓練（実動訓練）＞

◎名張市消防本部、都市整備部、上下水道部

訓練内容については今後、調整を行う予定です。

<各地域づくり組織における訓練>

◎必須訓練実施内容

- ・安否確認及び市災害対策本部への安否報告訓練
- ・地域災害対策本部の設置及び運営訓練（通信訓練含を含みます。）
- ・防災行政無線取扱訓練及び特設公衆電話開設訓練

◎地域の実情に合わせた訓練内容

- ・避難所開設・運営訓練

避難所開設のほか、地域をまたいだ避難者の受入れ、要配慮者への対応、ペットの受入れ、避難所生活環境の改善のための備品の活用等

- ・重量物からの救助訓練
- ・小中学校との合同訓練（児童及び生徒の避難所開設・運営訓練等への参加）
- ・消防団との合同訓練
- ・自衛隊による訓練参画
- ・三重県被災建築物応急危険度判定士による指定避難所の危険度判定
- ・災害協定事業者との協働

6. 検証

各地域での訓練の実施内容の把握に努め、検証結果を地域と共有します。

また、訓練の参加者及び職員に対してアンケート調査を実施することで、今後の防災施策へ反映します。

7. その他の訓練

令和7年度名張市総合防災訓練の一環として、年度を通じて次の訓練などを実施します。

- （1）応急救護所開設運営訓練（名賀医師会との合同訓練）
- （2）福祉避難所開設運営訓練（名張市社会福祉法人連絡会との共催）
- （3）三重県防災航空隊との訓練